

デジター 様

診断

- ①注意欠如・多動症
- ②自閉症スペクトラム障害(軽度)
- ③読字障害(発達性ディスレクシア)

解説：第4回診断 中2～3年生の再診断

中学での日頃の授業、あるいは高校受験の際の合理的配慮を中学で実施しておき
高校受験で合格を目指した合理的配慮を獲得することを目的とする

認知・行動特徴まとめ

- ①自閉症スペクトラム障害
社会的コミュニケーション対人的相互反応
1a) (あり)相互の対人的-情緒的関係の欠落
1b) (軽度)対人的相互反応で非言語的コミュニケーション行動を用いることの欠陥
1c) (軽度)人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥
行動、興味、活動の限定された反復的な様式
2a) (軽度)常同的または反復的な身体運動、物の使用、または会話
2b) (あり)同一性の固執、習慣への頑ななこだわり、言語的・非言語的な儀式的行動様式
2c) (なし)強度または対象において異常なほどきわめて限定され執着する興味
2d) (軽度)感覚刺激に対する過敏さ又は鈍感さ、又は環境の感覚的側面に対する並外れた興味
- ②注意欠陥多動性障害(投薬：有) 保護者担任評価点
a)不注意(あり) 保護者17点、担任2点 b)多動・衝動性(なし) 保護者7点、担任0点
- ③読み書き関連 STRAW-R 流暢性：ひらがな単語2.8SD カタカナ単語2.4SD 低下
- ④精神発達・知的水準 WISC-IV 生活年齢：12歳11ヶ月 FSIQ=86 VCI=95 PRI=95 WMI=88 PSI=73
【経過】◆第1回診断(2015.1) ASD、ADHD ◆第2回診断(2016.9) ASD、ADHD、読字障害 ◆第3回診断(2020.8) ASD、ADHD(混合型)、読字障害
- 〇〇中学校に入学。学習面では、板書がうまくできない。生活面では、マイペースで、やるべきことをしている最中に突然自分の世界に入り、一人で戦いごっこを始めたりすることも心配(葉がきれた時)。家では友達と関わりたいといっているが、学校ではあまり話せない。他者からの視線が気になり自発的に行動できない。◆コミュニケーション：友達と遊びたいが断られることが怖くて誘うことができない。自分から誘うことを嫌がる。語彙は増えてきているが、順序立てたり、要点をまとめたりして話すことが苦手でまどろっこしい。中学入学後「語彙がないね」「話が分からない」と言われる。(本人は上手く話せないことを理解している)場の流れに関係ない話を唐突にしだすことがある。話題もとびやすい。困っている時や嫌なことがあってもなかなか言い出すことができず、母が様子の変化に気付いて何度を水を向けると話し始める。(言い出す勇気が出ない)会話している時は違う方向に視線が行く。◆集団適応力：クラス内に仲良くしたいと思っている子(男児)はいるが、実際は自分から話しかけられない。グループ討論の場など複数人が話す場面では会話のテンポについていけず、自分の意見を言えない。集団の場に入っていくことが怖いという(馬鹿にされるから)。◆共感性：声のトーンが変わらないことが多い。◆こだわり：急な予定変更時には泣いて嫌がる。土日など自分がのんびりしたい時間に急な予定が入ると特に顕著で、何かにしがみついたり外出を嫌がることもある。◆反復運動：幼少期から変わらず自分の世界に入ると手をくねくね回していることがある。◆粗大運動：道具を使うスポーツが苦手。(野球・バドミントンなど道具との距離感を掴めない)体操は丁寧に踊るが少しテンポがずれる。◆微細運動：不器用。定規で線をひく、コンパスで円を描く、分度器で角度をはかることが苦手。靴紐をきつく結べない。箸の使い方が苦手で、ぼろぼろこぼす。◆学習：成績は学年の中で真ん中。板書が苦手。【読み】文章は勝手読みがある。【書き】漢字が正しく覚えられず練習してもすぐに忘れてしまう。同じ漢字、送り仮名を間違える。漢字の旁と偏を反対に書いたり、横線・点が多かったりする。枠内に字を収めることが苦手。アルファベットが鏡文字に。【計算】算数は得意な方であるがケアレスミスが多く点数がとれない。◆生活面：【睡眠】22:30頃布団に入るが、寝付きが悪く23:00頃に入眠する。6:30頃に起床。暗いところを怖がり一人で寝ることができない。家族と一緒に寝るまで待つこともある。【食事】野菜を食べない。気分によっておかずを残したりすることがある。【着脱】洋服の前後、裏表を間違えることはなくなったが、ボタンの掛け間違いや留め忘れがある。◆不注意：板書ではぼんやりしているため、全体を見渡さず目に付いたところだけ書く・遅い・書き漏れがある。計算時の桁のずれによる計算誤り、単位忘れ、問題をとばして解く。不意の怪我が多い。数学の符号(-、+)の見落としが多い。指示忘れ・話そうとしたことを忘れる。忘れ物・失せ物が多い。整理整頓・プランニングが苦手。◆多動性：家では、葉がきれると落ち着きなく走り回ったり、しゃべり続けて止まらないことがある。◆衝動性：目の前に優先すべきことがあると他の存在を忘れたり、疎かになる。早く帰るために帰宅準備時に手に持っていたハサミを片付けずに手に持って帰る。急いでいると周りが見えなくなつて物を踏んだり、何かにぶつかったりして走り出す。
- 【園・学校の様子より】
◆特に気がかりなこと：学習活動や作業に対してクラスメイトよりも時間が二、三倍はかかる(やったことは正確で丁寧である。中学校の流れについて行けるか気がかりである。◆行動特徴：非常に温厚で日々穏やかに学校生活を過ごしているが、自分から友達と関わりをもとうとはしない。何事にも丁寧に一生懸命(掃除や委員会活動等)で教員からの評価も高

療育・治療方針

上記①-③を併存する生徒としての支援が必要である。

- ①抗ADHD薬は有効であり継続する。
- ②今後読み書きの量が急速に増えてくると予想される。ICTの導入を中心とする合理的な配慮が必要である。
- ③日本語ですらディスレクシアである生徒に読み書きの英語を教えることの意味を十分考慮した英語教育が望まれる。

2025/04/01

平谷こども発達クリニック

担当医 平谷 美智夫

行動特徴・認知機能まとめおよび診断と治療方針

氏名 **ディジー太郎** 氏名カナ **ディジータロ** イニシャル
カルテ番号 00001 生年月日 09. 1. 1 初診日 15.1.1
主訴・初診までの経過・成育歴・身体所見
＜主訴＞

再診断
2015. 1 ASD、ADHD 2016. 9 ASD、ADHD、ディスレクシア
2020. 8 ASD、ADHD（混合型）、ディスレクシア

＜経過＞
〇〇中学校に入学。学習面では、板書がうまくできない。生活面では、マイペースで、やるべきことをしている最中に突然自分の世界に入り、一人で戦いごっこを始めたことも心配（薬がきれた時）。家族に対してはよくしゃべり喜怒哀楽を見せるが、学校では服薬の影響で無表情で無口。家では友達と関わりたいといっているが、学校ではあまり話せない。他者からの視線が気になり自発的に行動できない。目標があると苦手なこと面倒なことも素早くやりとげられる。
◆治療相談歴：昨年度まで□□で少年野球に参加。現在、薬物療法（コンサータ）
◆言語発達歴：有意味語12ヶ月、二語文2歳ごろ。現在、周りの子と比べて遅れは感じない。
◆コミュニケーション：友達と遊びたいが断られることが怖くて誘うことができない。自分から誘うことを嫌がる。なぜ誘わないのかと母が尋ねると、「みんな忙しいから」と理由をつけている。オンラインゲームをしていたことがあったが、相手から傷つくことを言われてからはやらなくなった。他者から声をかけてもらおうと輪に入ったり仲良く接したりできる。日常会話での理解力に問題はない。語彙は増えてきているが、順序立てたり、要点をまとめたりして話すことが苦手までどろっこしい。中学入学後「語彙がないね」「話が分からない」と言われる。（本人は上手く話せないことを理解している）場の流れに関係ない話を唐突にしだすことがある。話題もとびやすい。困っている時や嫌なことがあってもなかなか言い出すことができず、母が様子の変化に気付いて何度を水を向けると話し始める。（言い出す勇気が出ない）会話している時は違う方向に視線が行く。
◆集団適応力：クラス内に仲良くしたいと思っている子（男児）はいるが、実際は自分から話しかけられない。グループ討議の場など複数人が話す場面では会話のテンポについていけず、自分の意見を言えない。集団の場に入っていくことが怖いという（馬鹿にされるから）。行事など集団行動は周りに合わせて行動できる。
◆共感性：服薬の影響か表情が変わらない。声のトーンが変わらないことが多い。同年代の子の表情や様子を察することはできるようになる。家族内では母をねぎらったり、妹に気を遣ったりできる。
◆こだわり：特定の物事に執着することはない。急な予定変更時には泣いて嫌がる。土日など自分がのんびりしたい時間に急な予定が入ると特に顕著で、何かにしがみついて外出を嫌がることもある。
◆感覚：極度のこだわりで、一人で2階に行ったりトイレに入ったりできない（家では、ドアを全開にして妹をそばに待たせている。学校では大便はせず、小便は皆が休み時間にトイレに行くタイミングに合わせて行く）。夜暗い時の音に過敏に反応する。
◆反復運動：幼少期から変わらず自分の世界に入ると手をくねくね回していることがある。人との会話時には手の動きは見られない。
◆粗大運動：道具を使うスポーツが苦手。（野球・バトミントンなど道具との距離感を掴めない）体操は丁寧に踊るが少しテンポがずれる。

性別 男 年齢 14 : 1
記載日 25.1.1 所属 〇〇中学校 担任 先生
＜園・学校の様子＞

◆特に気がかりなこと：学習活動や作業に対してクラスメイトよりも時間が二、三倍はかかる（やったことは正確で丁寧である。中学校の流れについて行けるか気がかりである）。
◆行動特徴：非常に温厚で日々穏やかに学校生活を過ごしているが、自分から友達と関わりをもとうとはしない。何事にも丁寧に一生懸命（掃除や委員会活動等）で教員からの評価も高い。
◆コミュニケーション：休み時間、一人で読書することが多い。友達が話しかけにくると楽しそうに話したり関わり合ったりする。
◆反復運動：一時期（10月頃まで）授業中、足を頻繁に揺すっていることを見かけたが、現在（1月現在）ではあまり見かけなくなった。
◆学習：独特な字体。カクカクとした字。計算が正確だがとても時間がかかる。

～経過のつづき～
◆微細運動：不器用。定規で線をひく、コンパスで円を描く、分度器で角度をはかることが苦手。名札の安全ピンはずしが苦手であったが、毎日やって一人でできるようになった。靴紐をきつく結べない。箸の使い方が苦手、ぼろぼろこぼす。
◆学習：成績は学年の中で真ん中。板書が苦手。【読み】文章は勝手読みがある。【書き】漢字が正しく覚えられず練習してもすぐに忘れてしまう。同じ漢字、送り仮名を間違える。漢字の旁と偏を反対に書いたり、横線・点が多かったりする。枠内に字を収めることが苦手。アルファベットが鏡文字に。【計算】算数は得意な方であるがケアレスミスが多く点数がとれない。
◆生活面：【睡眠】22:30頃布団に入るが、寝付きが悪く23:00頃に入眠する。6:30頃に起床。暗いところを怖がり一人で寝ることができない。家族と一緒に寝るまで待つこともある。【食事】野菜を食べない。気分によっておかずを残したりすることがある。【着脱】洋服の前後、裏表を間違えることはなくなったが、ボタンの掛け間違いや留め忘れがある。
◆不注意：板書ではぼんやりしているため、全体を見渡さず目に付いたところだけ書く・遅い・書き漏れがある。計算時の桁のずれによる計算誤り、単位忘れ、問題をとばして解く。不意の怪我が多い。数学の符号（-、+）の見落としが多い。指示忘れ・話そうとしたことを忘れる。忘れ物・失せ物が多い。整理整頓・プランニングが苦手。
◆多動性：家では、薬がきれると落ち着きなく走り回ったり、しゃべり続けて止まらないことがある。
◆衝動性：目の前に優先すべきことがあると他の存在を忘れたり、疎かになる。早く帰るために帰宅準備時に手に持っていたハサミを片付けずに手に持って帰る。急いでいると周りが見えなくなって物を踏んだり、何かにぶつかったりしてと走り出す。

＜PARS＞（親面接式自閉スペクトラム症評定尺度）

就学前	小学生以上
幼児期現在評定:	現在得点:
幼児期ピーク評定:	幼児期ピーク評定:

ADHD(注意欠如・多動性障害)関連症状

不注意	あり	
保護者 担任	17 2	総合評価
多動性・衝動性	なし	
保護者 担任	7 0	総合評価

知能検査:

田中ビネー	CA=	IQ=	基底年齢=
実施日			
WISC-IV	CA= 12:11	FSIQ= 86	実施日 2022/07/30
	VCI= 95	PRI= 95	WMI= 88 PSI= 73

利き手

＜その他＞
検査態度・指示理解良好。言葉で説明する時は詰まりが多く、話すのに時間がかかる。またソワソワしだす。わからない問題でもまず挑戦しようとする。わからない問題に「わからない」とは言わない。粘り強く頑張る。こちらから声掛けをすると「わからない」ということが出来る。

< 自閉スペクトラム症関連症状 > DSM-5

社会的コミュニケーション-対人的相互反応 a,(b),(c)

00001

デイジー太郎

1a)相互の対人的-情緒的関係の欠落

- ・語彙は増えてきているが、順序立てたり、要点をまとめたりして話すことが苦手でまどろっこしい。
- ・場の流れに関係ない話を唐突にしだすことがある。
- ・話題もとびやすい。
- ・困っている時や嫌なことがあってもなかなか言い出すことができず、母が様子の変化に気付いて何度を水を向けると話し始める。

- ・日常会話での理解力に問題はない。

MC4	MC9	MC17	P3	P8
MC6	MC14	MC19	P5	P38
MC7	MC15	MC20	P7	P45

1c)人間関係を発展させ、維持し、それを理解することの欠陥

- ・行事など集団行動は周りに合わせて行動できる
- ・他者から声をかけてもらおうと輪に入ったり仲良く接したりできる。
- ・家族内では母をねぎらったり、妹に気を遣ったりすることができる。

MC2	P2	P36	P41
MC5	P9	P37	P44
MC13	P35	P39	

1b) 対人的相互反応で非言語的コミュニケーション行動を用いることの欠陥

MC6	MC12	P1
MC7	MC23	P5
MC10		P44

(注)

MC:M-CHAT...P.7参照

P:PARS...P.8参照

行動、興味、活動の限定された反復的な様式 (a),b,(d)

2a)常同的または反復的な身体の運動、物の使用、または会話

- ・幼少期から変わらず自分の世界に入ると手をくねくね回していることがある

MC8	P10
MC18	P11
MC22	

2c)強度または対象において異常なほどきわめて限定され執着する興味

P46

2b)同一性への固執、習慣への頑ななこだわり、言語的・非言語的な儀式的行動様式

- ・急な予定変更時には泣いて嫌がる。
- ・土日など自分がのんびりしたい時間に急な予定が入ると特に顕著で、何かこじがみついて外出を嫌がることもある。

P10
P11

2d)感覚刺激に対する過敏さ又は鈍感さ、又は環境の感覚的側面に対する並外れた興味

極度のこわがりで、一人で2階に行ったりトイレに入ったりできない(家では、ドアを全開にして妹をそばに待たせている。学校では大便はせず、小便は皆が休み時間にトイレに行くタイミングに合わせて行く)。夜暗い時の音に過敏に反応する。

MC11

P.4